

## 第48回 埼玉県新型コロナウイルス感染症専門家会議 概要

1. 日時：令和3年10月20日（水）17：00～18：30

2. 会場：庁議室

3. 委員（敬称略 五十音順）

池田 一義	一般社団法人埼玉県商工会議所連合会 会長
岡部 信彦	川崎市健康安全研究所 所長（WEB 参加）
金井 忠男	埼玉県医師会 会長
川名 明彦	防衛医科大学校 教授（WEB 参加）
小谷野 和博	埼玉県中小企業団体中央会会長（WEB 参加）
坂木 晴世	国際医療福祉大学大学院 准教授（WEB 参加）
讚井 将満	自治医科大学附属さいたま医療センター 副センター長（WEB 参加）
竹田 晋浩	かわぐち心臓呼吸器病院 理事長・院長（WEB 参加）
松田 久美子	埼玉県看護協会 会長
三村 喜宏	埼玉県商工会連合会会長（WEB 参加）

4. 県側参加者

大野 元裕	知事
高田 直芳	教育長（WEB 参加）
安藤 宏	危機管理防災部長（WEB 参加）
山崎 達也	福祉部長（WEB 参加）
関本 建二	保健医療部長
星 永進	保健医療部参事
本多 麻夫	保健医療部 参事
板東 博之	産業労働部長（WEB 参加）
岸本 剛	衛生研究所 副所長

## 5. 主な意見

### ア 現状の分析・評価について

- 全国的に減少に向かっていることは非常に良い傾向であるが、リバウンドに対する警戒は常に必要である。（岡部委員）

### イ 10月25日以降の対応について

- 解除後の施策については大変歓迎をするものの、段階的に緩和してきた中で、一斉に解除されることによるリバウンドを懸念している。（池田委員）
- 全面解除した後に、リバウンド等も懸念されるため、増えてきた場合の対応を具体的に検討しておく必要がある。（金井委員、竹田委員）
- 今後も再拡大の防止策を徹底しながら、県内の経済の再構築に向けて、各観光施策を力強く推進していただきたい。また、G・O・T・Oトラベルについて、復活するよう国に働きかけていただきたい。（小谷野委員）
- 要請内容の大幅な緩和や、各事業の再開は、県民、事業者が日常を取り戻し、地域経済を回復させていく上で希望の光となる。商工会としても、この状況をさらに好転させるため、事業者の適切な感染対策の徹底を引き続き呼びかけていくとともに、伴走型支援を着実に進めていく。（三村委員）
- 緩和はメンタルヘルス的にはいいが、緩和内容と徹底した感染防止対策の場面を分け、それぞれに適切な行動をとるのは難しいのではないかと。ただ、G・O・T・O事業等について、陽性者が減少し続けている中で行う点が、昨年とは違う点であるので、警戒しつつ進めていただきたい。（松田委員）
- 高齢者施設における面会制限や葬儀方法など、未だに厳格にやり過ぎている施設があるため、適切な形で元に戻していく必要がある。（岡部委員）
- 緩和により、学生を中心にワクチン未接種者の多い若年層が主たる患者になっていくと思われるため、例えば、修学旅行、文化祭、様々な全国大会などのイベントに際し、希望者に対する事前検査などが手段として確保されていると、より安全性が高まるのではないかと。（坂木委員）
- 10月25日以降の対応について異議なし。（委員一同）

**【県の対応】**

- 県内の感染状況及び委員の意見を踏まえ、埼玉県における令和3年10月25日以降における県民・事業者の皆様へのお願いについて決定した。（10月20日開催 第70回新型コロナウイルス対策本部会議において決定。）